

# 令和8年度 事業概要



北陸地方整備局  
飯豊山系砂防事務所

事務所HP



X



# 飯豊山系砂防事務所の使命

- 一、地域の人々のくらしと生活を土砂災害から守るため全力を尽くします。
- 一、砂防事業を通じて、活力ある地域づくりに貢献します。
- 一、飯豊山系の豊かな自然環境を大切に、調和のとれた砂防事業を推進します。

## 使命を果たすための方針

- 土砂災害防止のための砂防事業を推進するとともに、過去の災害を教訓とした危機管理体制の強化を図り、地域と連携して安心、安全の向上に努めます。
- 地域の皆様の思いを踏まえ、環境・観光・健康・教育をキーワードに地域の皆様、関係市町村・機関等と連携して、土砂災害の解消を目指します。
- 飯豊山系・周辺中山間地の豊かな自然は地域の宝であることを認識し、流域に生活する皆様のご意見に耳を傾けながら事業を推進します。



# 飯豊山系砂防事務所管内の特徴と事業の進め方

- ・昭和42年8月の羽越災害を契機として、荒川流域の直轄砂防事業に着手しました。
- ・更に昭和53年6月の集中豪雨災害を契機として、胎内川・加治川流域の直轄砂防事業に着手しました。胎内川流域の直轄砂防事業は、事業の進捗により一定の安全度が確保されたことから、令和2年3月に新潟県に移管しました。
- ・流域の多くが崩壊地や地すべり地帯であり、なおかつ豪雪地でもあるため、土砂流出の危険性を持っています。
- ・飯豊山系直轄砂防流域、及び下流域での土砂による被害をなくすため、砂防事業の進捗をはかっています。

## 【管内流域の概要(全体)】

1) 直轄砂防流域面積

荒川	1,072km <sup>2</sup>
加治川	336km <sup>2</sup>
計	1,408km <sup>2</sup>

## 2) 土石流危険渓流数

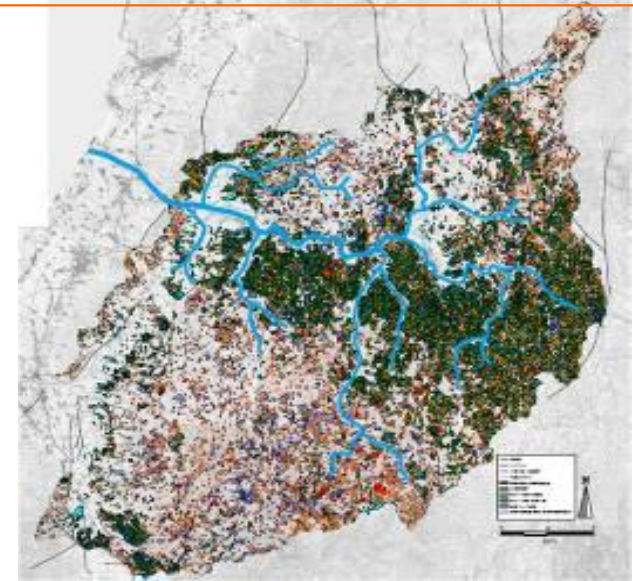
※氾濫域の人家が5戸以上もしくは、公共施設等を含む渓流

山形県	55渓流
新潟県	79渓流
計	134渓流



## 管内微地形判読図

地すべり地形が多く分布しており、羽越災害のような大規模な豪雨時において崩壊・土砂流出の危険性が高い。



- **崩壊・地すべり多発地帯**  
流域の多くが**風化・破碎の進む花崗岩類**で崩れやすい。
- **急流河川**  
主要幹川の河床勾配は約1/20～1/30
- **多雨・豪雪地帯**  
年間降水量は約**3,000mm**、降雪期には**積雪深が約2m**にもなる多雨・豪雪地帯である。  
**土砂生産・流出しやすい自然条件を備えている。**

## 地質図



## 飯豊山系砂防事業の実施方針

### 【長期目標: 全体の計画】

- ・下流域沿川地域の氾濫被害をなくす。
- ・土石流災害による人的・財産被害をゼロにする。

### 【中期目標: 概ね30年間※】

- ・既往最大の土砂災害の**昭和42年羽越災害規模**の土砂災害に対して、**流域の安全を確保する。**

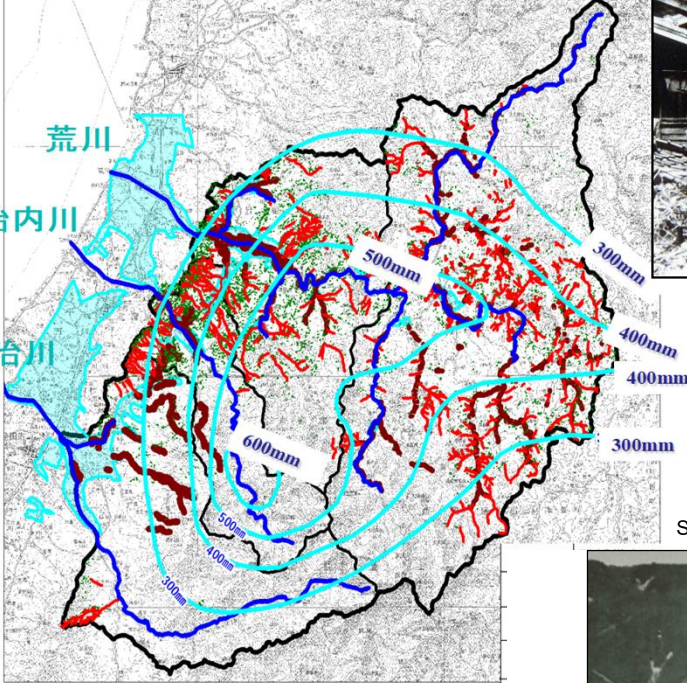
**上記を目標に砂防事業を進めて行きます。**

※中期目標は平成23年から概ね30年間

- ・昭和42年8月28日に発生した洪水「羽越災害」において、荒川、胎内川、加治川流域の各地で土石流や河川はん濫が発生し、流域に甚大な被害を及ぼしました。
- ・昭和53年6月26日に胎内川、加治川流域において「梅雨前線豪雨災害」が発生したことによりさらに崩壊が進み、土砂災害発生危険性が高くなりました。

## 昭和42年羽越災害

羽越災害の崩落と土砂流出状況



■	崩壊地
■	土石流発生箇所
■	洪水による土砂堆積
■	冠水・浸水

死者・行方不明者64名、全壊・半壊・流出家屋1,919棟、浸水家屋12,627棟の大きな被害を及ぼしました。

温泉街をおそった土石流  
関川村湯沢温泉



川幅が倍以上になった荒川  
S42.8 関川村下関(中心街)上空



流木の山となった小国橋  
S42.8 小国町小坂町(中心街)  
「おおみず(小国町)」より



集落をおそう土石流  
S42.8 胎内市下荒沢(旧黒川村)



## 【S53. 6梅雨前線豪雨災害】 (胎内川・加治川流域)



崩落の痕跡  
(加治川支渓流)



豪雨により渓流内土砂崩落  
(姫田川支川渓流)



豪雨により土砂流出  
(姫田川支川渓流)



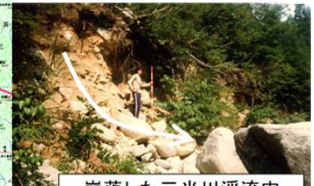
崩落した流域内  
(胎内川中流域)



巨礫が押し寄せた加治川支渓流



洪水後の土砂が堆積した寺内川



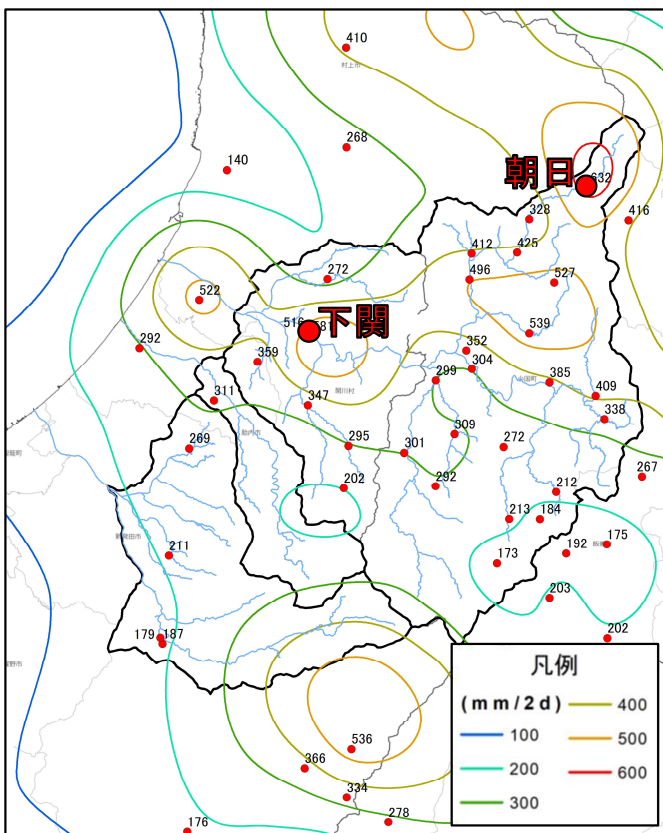
崩落した三光川渓流内

# 近年の主な災害

- ・令和4年8月3日から4日にかけて前線が日本海から北陸・東北地方に停滞し、断続的に非常に激しい雨が降りました。
- ・荒川流域では、3日朝から全域において激しい雨が降り続け、新潟県岩船地域及び山形県西置賜地域では、大雨特別警報が発表されました。

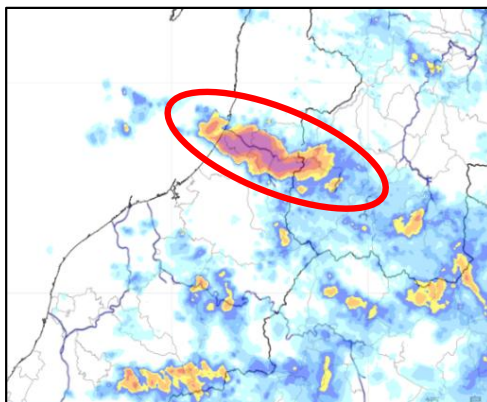
## 令和4年8月3日からの大雨

2日間雨量(令和4年8月3日~4日)



荒川流域では、全域において8月3日朝から雨が激しくなり、降り始めからの48時間累加雨量は、多いところで朝日観測所 648mm、下関観測所 571mmに達するなど広い範囲で記録的な雨量を観測しました。

荒川流域の降雨状況(XRAIN)  
令和4年8月4日2時00分



土砂や流木におそわれた温泉街  
関川村湯沢温泉



荒川本川の水位上昇  
小国町赤芝峡



▲平常時



▲令和4年8月3日17時ごろ

荒川の砂防基準点付近でも多数の土石流が発生  
荒川頭首工周辺



8月3日の水位

▲令和4年11月3日撮影

## ● 飯豊山系砂防事業の事業費内訳

（単位：百万円） 業務取扱費を除く

事業区分		①令和6年度 補正	①令和7年度	②令和7年度 補正	③令和8年度	伸率 (②+③)/① [伸率③/①]
直轄砂防事業費	山形県	370.000	720.000	282.000	699.000	1.36 [0.97]
	新潟県	240.000	476.000	252.000	497.000	1.57 [1.04]
	合計	610.000	1,196.000	534.000	1,196.000	1.45 [1.00]

## ● 令和8年度事業箇所数(水系別)

河川名	実施箇所数		
	新規	継続	計
荒川	0	9	9
加治川	0	2	2
合計	0	11	11

## ● 令和8年度事業箇所数(市町村別)

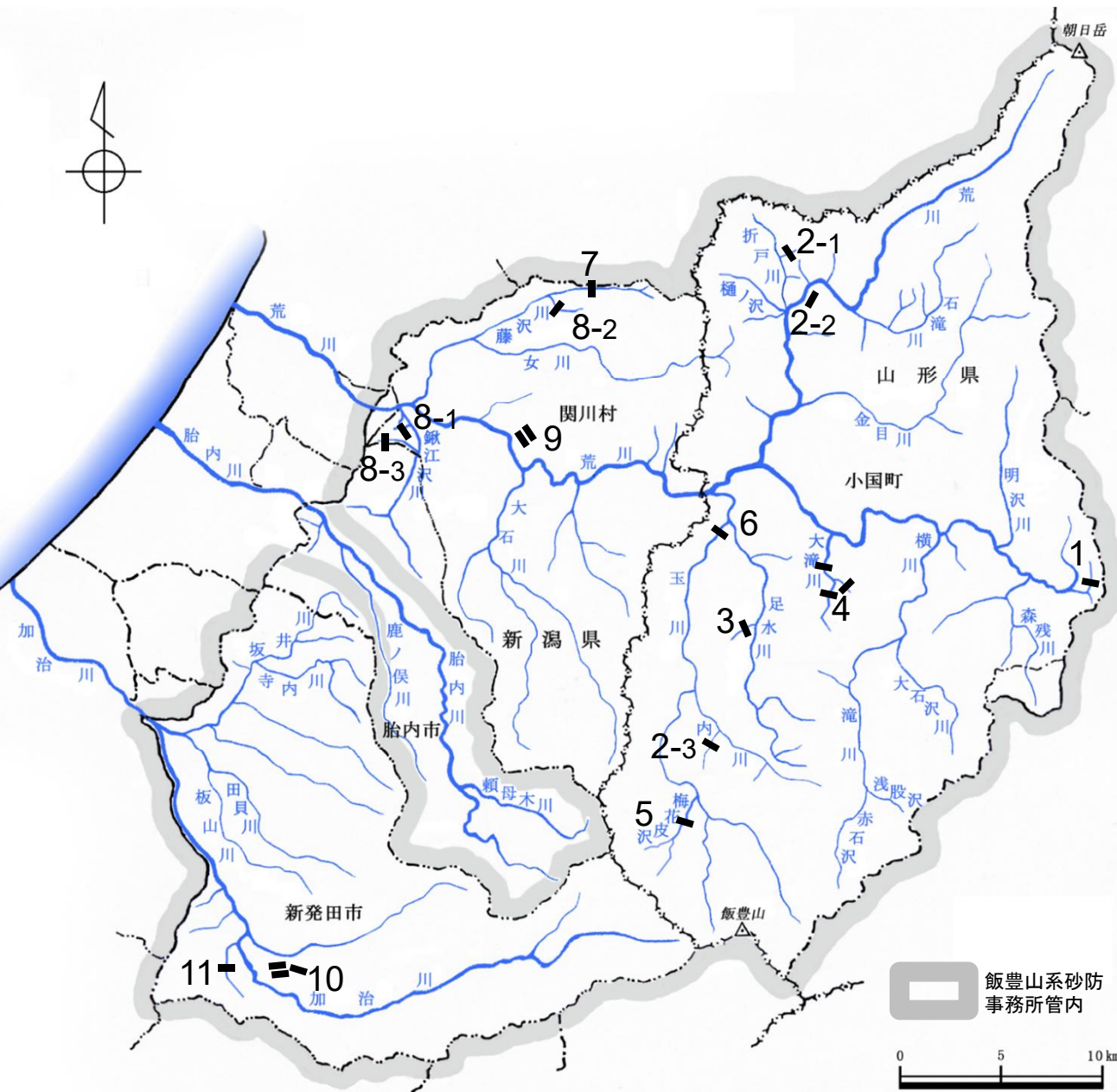
市町村名	新規	継続	計	うち完成
小国町	0	6	6	0
関川村	0	3※	3	0
胎内市	0	1※	1	0
新発田市	0	2	2	0

※：荒川下流土砂・流木対策砂防堰堤改築：2市町村（関川村、胎内市）に跨がる施設有り



# 令和8年度事業箇所一覧

- ・流域治水の考え方のもと、河川、道路、林野等の各事業と連携した「土砂・洪水氾濫対策」、「インフラ・ライフライン保全対策」、「流域流木対策」等を推進。
- ・令和8年度は、11箇所において事業を実施し、土砂災害に対する安全度の向上を図ります。



## 【山形県】(6箇所)

### 【西置賜郡小国町】

- すぎたちさわ どしやりゅうしゅつたいさく
- 1. 杉立沢土砂流出対策
- あらかわじょうりゅう さぼうえんていしせつかいちく
- 2. 荒川上流砂防堰堤施設改築(3工区)
- おがわさわ さぼうえんてい
- 3. 小川沢砂防堰堤
- おおたきがわ さぼうえんていぐん
- 4. 大滝川砂防堰堤群
- かいらぎさわだいごごう さぼうえんてい
- 5. 梅花皮沢第5号砂防堰堤
- たまがわりゅう さぼうえんてい
- 6. 玉川下流砂防堰堤

## 【新潟県】(5箇所)

### 【岩船郡関川村】

- ふじさわがわだいさんごう さぼうえんてい
- 7. 藤沢川第3号砂防堰堤
- あらかわかりゅう どしや・りゅうぼくたいさくさぼうえんていかいちく
- 8. 荒川下流土砂・流木対策砂防堰堤改築(3工区)
- ゆさわちくさぼうえんていぐん
- 9. 湯沢地区砂防堰堤群

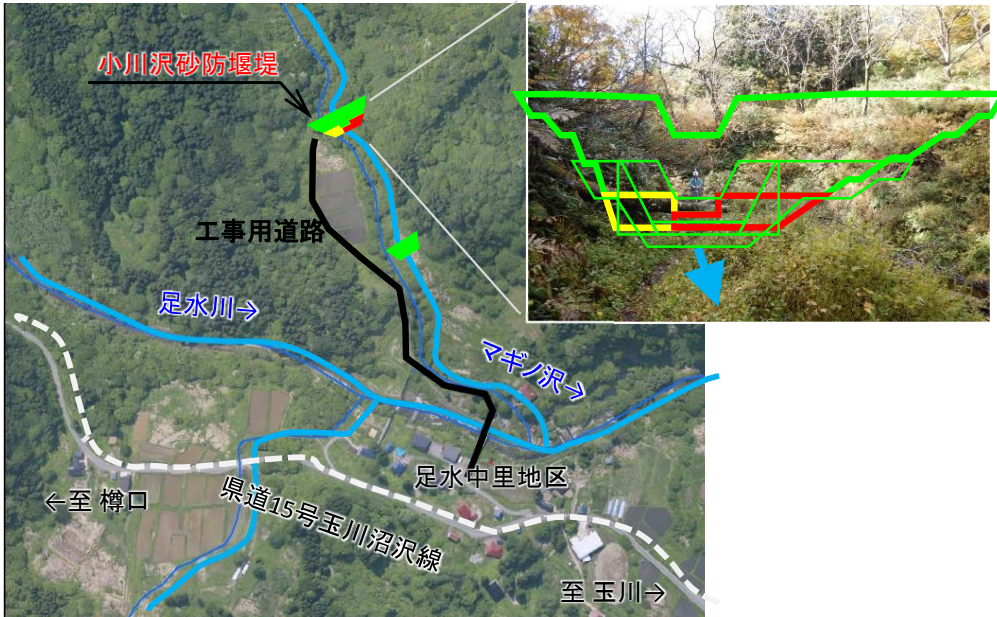
### 【胎内市】

- あらかわかりゅう どしや・りゅうぼくたいさくさぼうえんていかいちく
- 8. 荒川下流土砂・流木対策砂防堰堤改築(1工区)
- [8・・・2市町村(関川村、胎内市)に跨る施設有り]

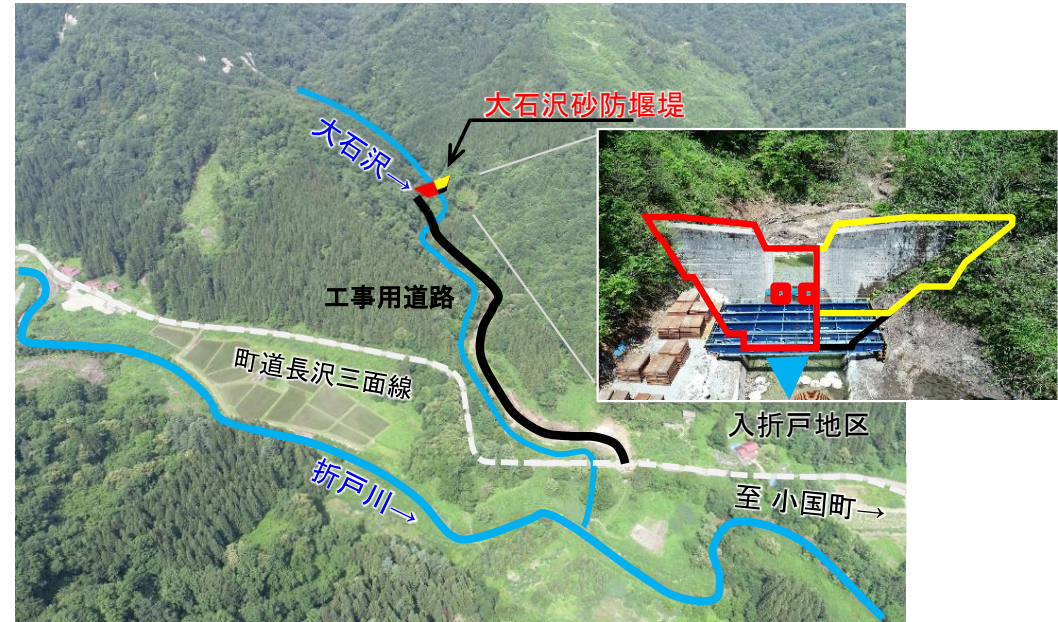
### 【新発田市】

- たきたにさわ さぼうえんていぐん
- 10. 滝谷沢砂防堰堤群
- かじかわ さぼうしせつかいちく
- 11. 加治川砂防施設改築

**小川沢砂防堰堤** (西置賜郡小国町菅沼地先)



**荒川上流砂防堰堤改築** (西置賜郡小国町入折戸地先)



**藤沢川第3号砂防堰堤** (岩船郡関川村中東地先)

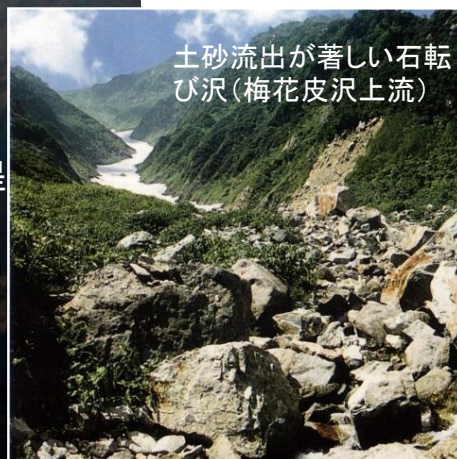
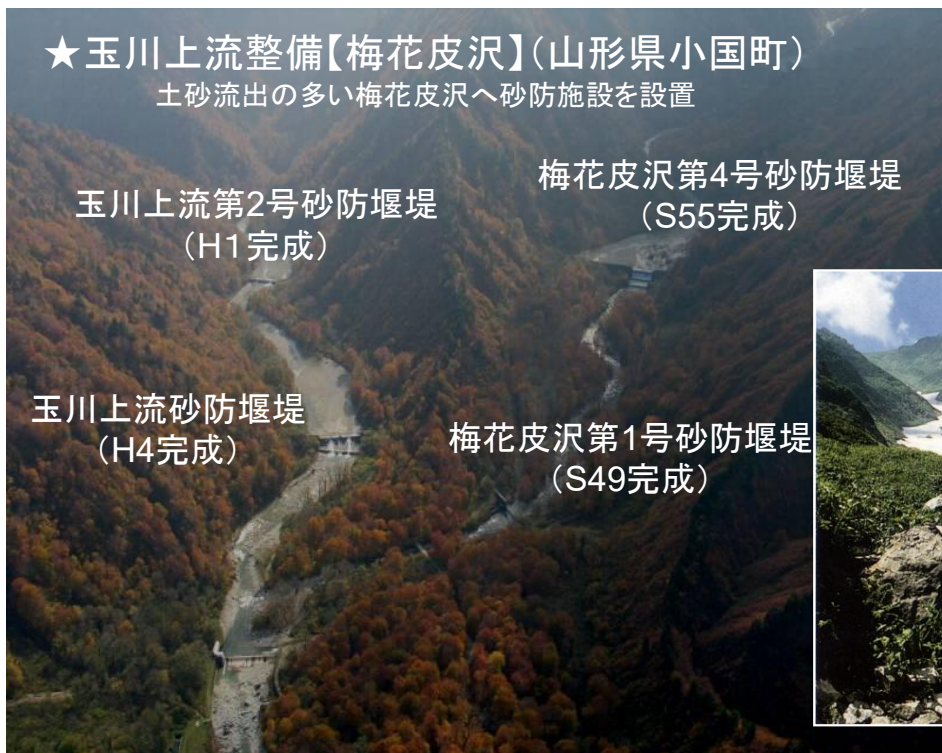


**滝谷沢砂防堰堤群** (新発田市滝谷地先)



# これまでに整備した主な施設

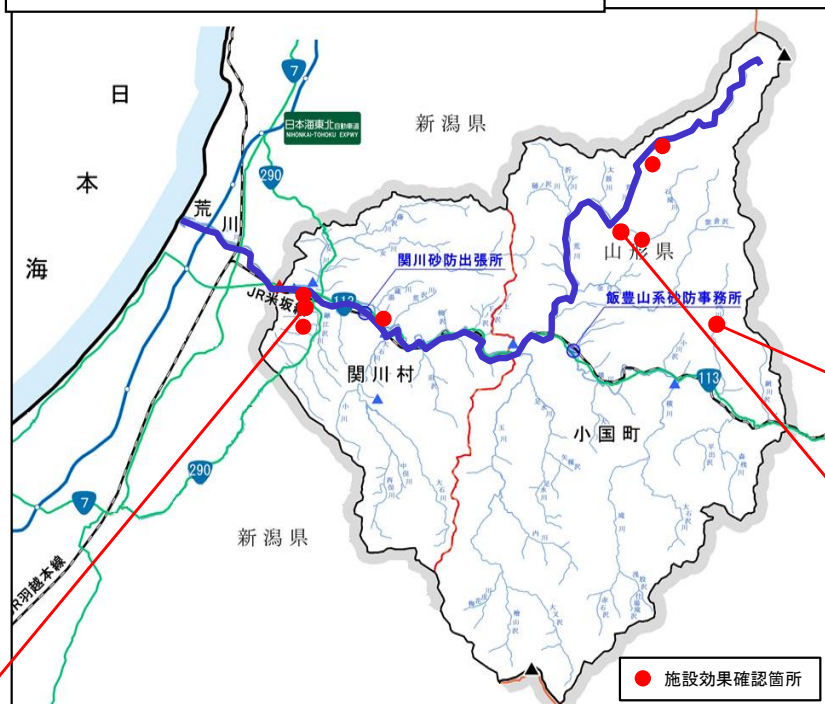
昭和44年の直轄砂防事業着手以降、229施設を整備【R8.3末現在】※胎内川流域の新潟県移管施設含む



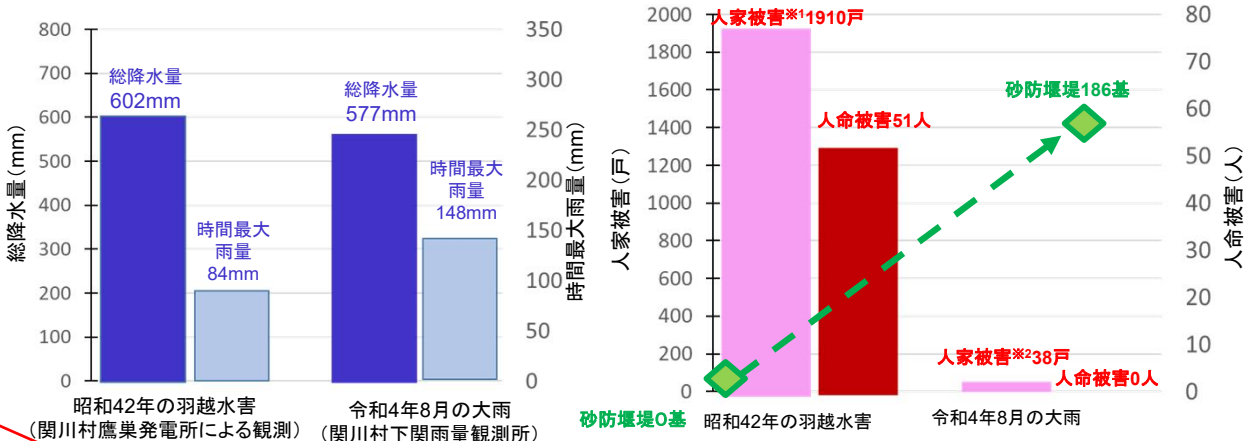
# 施設効果【令和4年8月からの大雨における管内砂防施設】

・新潟県関川村で総降水量が羽越災害時と同規模、時間雨量は約1.8倍となる等、荒川流域では大雨が観測され39件の土石流が発生したが、この内12件において既設の砂防堰堤により土砂や流木を捕捉する等、土石流被害を軽減。

## 土砂捕捉を確認した砂防堰堤 位置図



## 降水量と被害状況等の比較

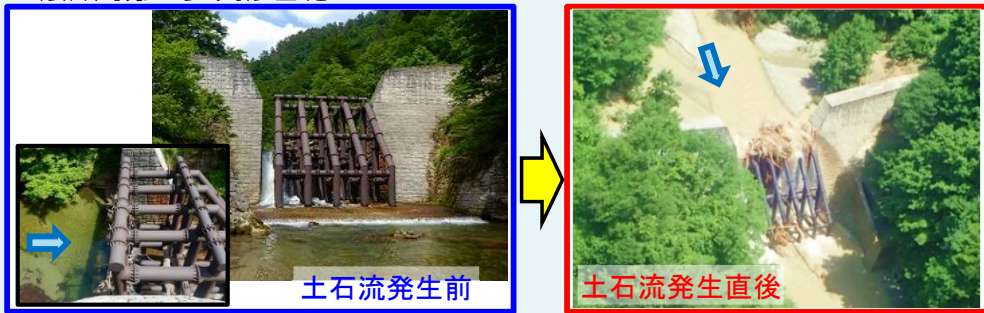


※1 全壊、半壊を計上 (砂防学会誌 1998, Vol.50, No.6より)  
 ※2 全壊、半壊、一部損壊を計上 (新潟県の報告より)

○土石流が発生した下土沢地区及び下鎌江沢地区の2件では、5基の砂防堰堤が2地区・13戸の人家を保全したと推計



## 明沢川第3号砂防堰堤



## 小小倉沢下流砂防堰堤



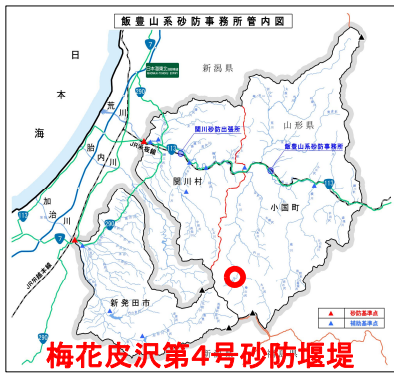
# 施設効果【梅花皮沢第4号砂防堰堤（山形県小国町）】

- 梅花皮沢は、荒廃した山地（飯豊連峰）からの流出土砂が著しい
- 流れた土砂が川にたまと、川底が高くなって流せる水量が減り、あふれやすくなる

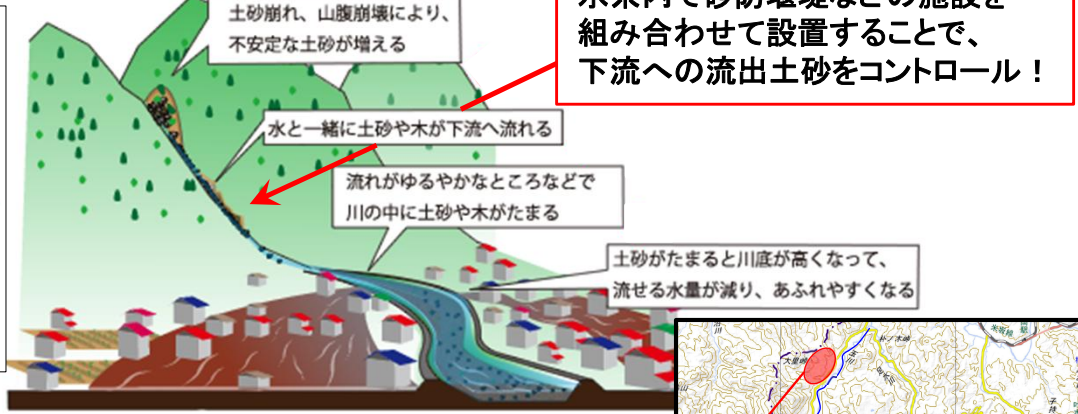


- 荒廃した山地からの流出土砂をコントロール
- 下流河川における河床上昇による洪水氾濫から流域を保全

### 【施設位置図】



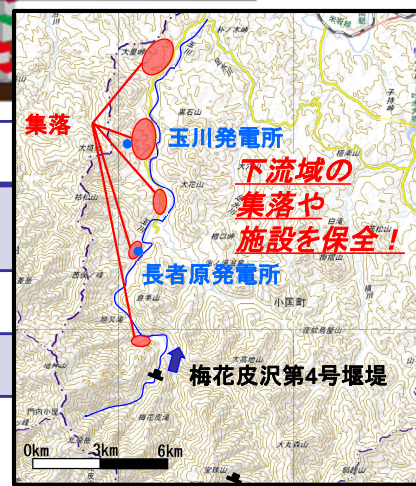
### 【水系砂防】



水系内で砂防堰堤などの施設を組み合わせることで、下流への流出土砂をコントロール！

### 【概要】

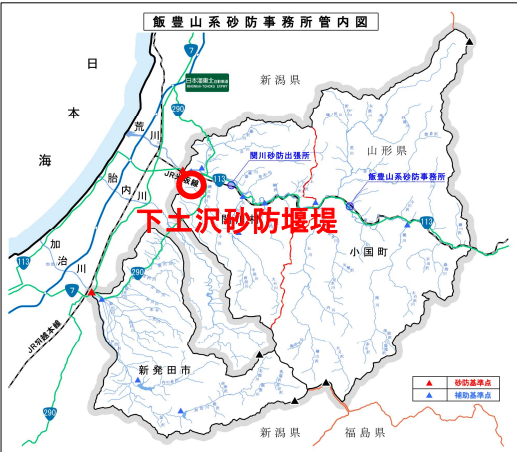
施設名称	梅花皮沢第4号砂防堰堤
施行位置	やまがたけにしおきたまぐんおぐにまちおおあざぬくみだいら 山形県西置賜郡小国町大字温見平
河川名	荒川水系左支玉川左小支梅花皮沢
施行年	昭和50年～昭和55年(12月完成)
諸元	計画種別: 水系 流域面積: 合計15.5平方キロメートル
構造	重力式、高さ15.0m、長さ211.0m、幅3.3m、立積16,991m <sup>3</sup>



# 施設効果【下土沢砂防堰堤（新潟県岩船郡関川村）】

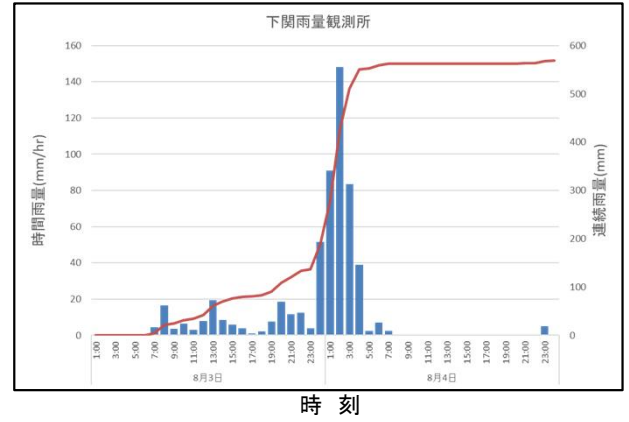
- 令和4年8月3日からの大雨により発生した土石流を下土沢砂防堰堤が捕捉
- 下流保全対象への被害を未然に防止し効果を発揮

## 【施設位置図】



## 【降雨状況】

発生日：令和4年8月4日（推定）  
 降雨状況：  
 しもせき  
 下関雨量観測所  
 連続雨量 582mm  
 （3日1時～4日8時）  
 時間最大雨量 148mm  
 （4日1時～2時）  
 発生箇所：新潟県岩船郡関川村



● 令和4年8月3日からの大雨に伴い、約6,000m<sup>3</sup>の土砂を捕捉（写真中下）



↑下土沢の流域内では5箇所の崩壊を確認

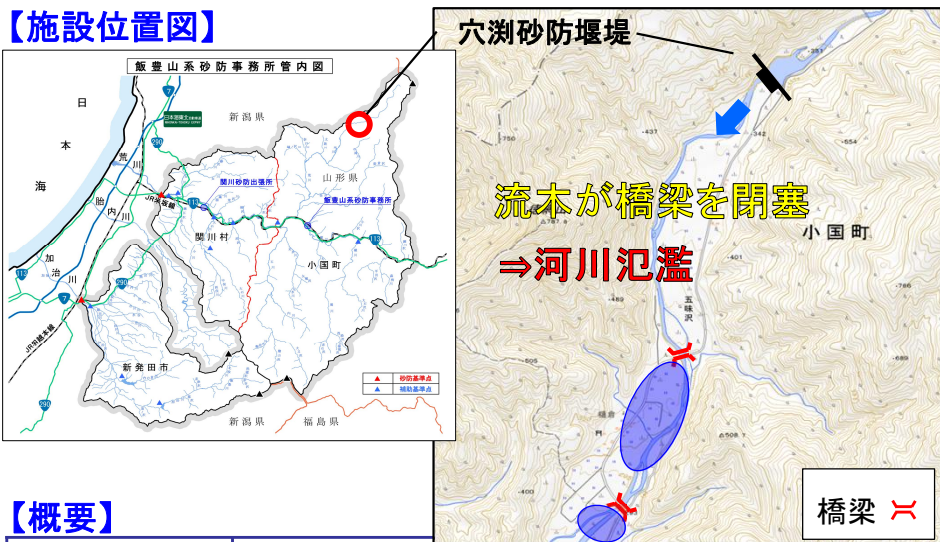


↑土砂・流木を捕捉、土石流による被害を防止

# 施設効果【穴渕砂防堰堤（山形県小国町）】

- 鋼製パイプを櫛状に組み立て、流木止めを整備くしじょう
- 大きな出水の度に流出流木を捕捉、流木が橋梁を閉塞することで発生する、下流域（山形県小国町五味沢地区ほか）の河川氾濫を未然に回避

## 【施設位置図】



## 【概要】

施設名称	穴渕砂防堰堤
施行位置	やまがたけんにしおきたまぐんおぐにまちおおあざごみさわ 山形県西置賜郡小国町大字五味沢
河川名	荒川水系荒川本川
施行年度	昭和51年～昭和54年 平成13年度に、副堤袖部嵩上げ・流木止め・側壁・護床・魚道横断設置
諸元	計画種別：水系 流域面積：39.4平方キロメートル
構造	重力式 立積：15,320m <sup>3</sup> 高さ：15m 長さ174m 流木止め 高さ：4.5m 長さ：27.5m

## ■ 流木の捕捉

大きな出水の度に流木を捕捉



流木によって橋梁部が閉塞した事例  
※羽越水害(1967年)時の小国大橋

## ■ 流木の撤去



動画はX(旧Twitter)で配信しています

@mlit\_iidesabo



- 令和4年8月3日から大雨により、荒川流域の多数の箇所において土砂崩落等が発生。管内の土砂移動状況を把握するため、飯豊山系砂防事務所において航空レーザ計測を実施。
- 取得した航空レーザ成果を共有し、砂防（飯豊山系砂防事務所）・治山（置賜森林管理署、下越森林管理署村上支署）が連携して流域流木対策に取り組むことで流木被害の防止・軽減を図る。

## 令和4年8月3日からの大雨

令和4年8月3日から4日未明にかけて、山形県置賜地方、新潟県下越地方を中心に、下関雨量観測所では時間最大雨量148mmを記録するなど、非常に激しい大雨となり、荒川流域では甚大な被害が発生した。



流域内において表層崩壊が多数発生 土砂及び流木を砂防堰堤が捕捉

## 令和4年度までの実施内容

### ○航空レーザ計測の実施及びオルソの提供



荒川流域の大部分においてデータを取得済み

### ○流域流木対策をはじめとした事業連携協議

取得した航空レーザ計測成果を共有することにより、各機関の事業推進をはかるとともに、流域流木対策についても協議を開始

## 令和5,6年度の取り組み

### ○荒川流域治水協議会での周知 （流域治水プロジェクトへの反映に向けて）

令和5年4月に開催された荒川流域治水協議会において、令和4年8月の大雨をふまえた流域治水プロジェクトの関連事業として、流域流木対策を推進していくことを共有。

### ○航空レーザ計測成果の共有

取得した成果は各林務部局（国有林事業者：置賜森林管理署、下越森林管理署村上支署）に貸与、被災からの復旧計画検討、森林経営管理等を目的とした森林資源解析に活用。

### ○連携の強化

治山部局と砂防部局の緊密な連携を図るため、DX施策の実証実験を実施する工事現場の現地視察や勉強会などを連携して開催。

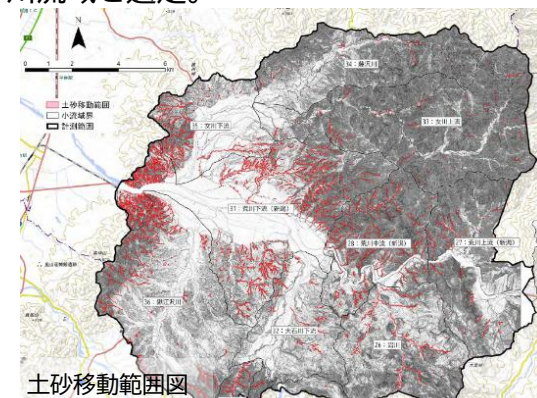


DX施策現地見学会(R5.7.27)、流木対策の勉強会(R5.8.3)を開催

## 令和7年度の取り組み

### ○流木対策対象流域の選定

令和4年8月豪雨にて土砂・流木の流出が著しい流域を、流域流木対策の連携流域に設定。連携流域の中で、治山部局が検討した流木発生の高危険性の高い流域を優先的に取り組む連携対象流域として金目川流域を選定。



土砂移動範囲図

差分解析、オルソ等から判別、対象流域を抽出

### ○流木量の定量化

航空レーザ測量成果を用いて、治山部局で算定した流木量の妥当性を確認したうえで流木量を設定。

連携対象流域の施設整備状況を共有。

## 令和8年度以降の予定

- 連携対象流域において、治山・砂防部局各々が計画を策定。
- その計画を基に、事業調整を行い、対策を推進していく。一体的に事業を実施することで、流域全体の流木被害を防止・軽減する。

# 施設効果【地域経済（産業、なりわい）】

- 国道113号は昭和42年羽越災害において土砂災害等により交通途絶が発生している。
- 小国町は半導体製造に必要な資材や自動車製造に使用する電池材料を供給する企業等が立地しており、国道113号を当該資材の供給路として利用しているため、交通途絶が生じると各種製品のサプライチェーンに大きな影響が生じる。
- 当該区間の途絶により、経済損失約1.7億円/日の影響があり、直轄砂防事業が地域経済を支える重要な役割を担っている。

【令和4年8月大雨の施設効果】



半導体製造等各種製品の  
サプライヤーの拠点

【主力製品】

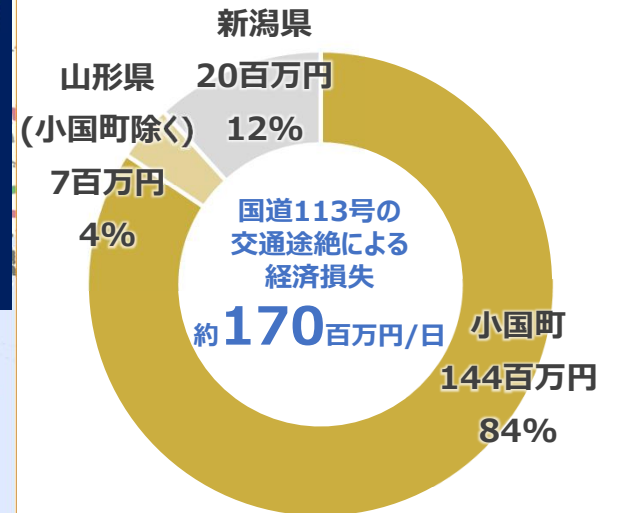
- ・小型モーター用カーボンブラシや半導体製造装置用セラミック部材
- ・合金鉄製造技術をベースにした電池材料や高純度金属 等

世界シェア 約7～8割

【令和4年8月大雨の施設効果】



## ●交通途絶による経済損失



出典：山形県産業連関表（H27）、新潟県産業連関表（H27）をもとに試算

## ●国道113号の様子

交通途絶時（赤芝橋付近）



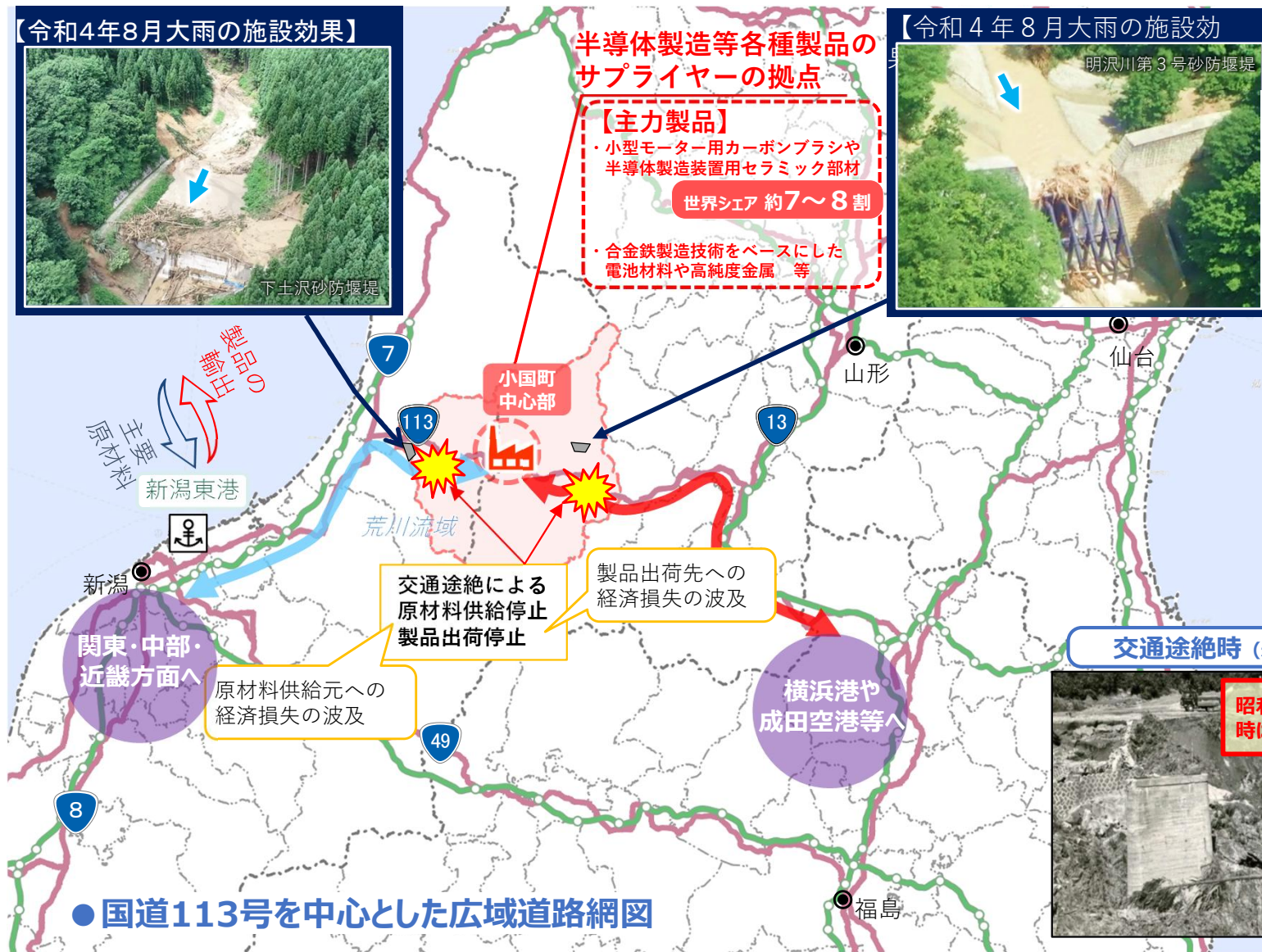
昭和42年羽越災害時は、赤芝橋が落橋

通常時（赤芝橋付近）



国道113号は貨物車も利用

撮影：R7.10.14（火）



## ●国道113号を中心とした広域道路網図

# 施設効果【地域創生】

## 荒川流路工（小国町の「白い森構想」の中心的施設）

平成8年に完成した荒川流路工は、土砂災害から流域を守るとともに、人が川と親しめるスポットとなりました。また、流路工周辺の土地を利用し、優れた自然環境資源を生かしたレクリエーション施設（白い森交流センター“りふれ”・オートキャンプ場など）が地元の創意によって整備されました。

昭和42年羽越災害後の状況

平成18年撮影



オートキャンプ場



荒川

虚空蔵橋



オートキャンプ場

宿泊研修施設

荒川

虚空蔵橋

.....：整備区間



りふれ（レクリエーション施設）

流路工背後地の活用が進み、さまざまなレクリエーション施設が整備されました。

## 梅花皮沢砂防堰堤工事用道路（森林セラピーロード）

梅花皮沢での砂防堰堤の工事用道路の確保にあたって、ブナ林などの原生林を伐採しないようにルートが選定されました。今もこの道路は飯豊山への登山道として利用され、また「森林セラピーロード」に認定されるなど地域の観光資源として整備され、多くの方々に利用されています。



登山道

梅花皮沢  
第4号砂防堰堤  
(S55完成)

梅花皮沢  
第1号砂防堰堤  
(S49完成)

セラピーロード  
(工事用道路)



ブナの伐採を避けた  
工事用道路



工事用道路は、森林セラピーとして多くの人から利用されています。

飯豊連峰には、毎年多くの登山客が訪れます。

# 地域の防災力を高める警戒避難体制の強化（防災情報の発信）

関係自治体との情報共有化を図り、土砂災害発生等の危険性に関する情報を地域住民にいち早く伝達することが可能となるよう情報基盤整備を推進しています。また、事務所ホームページにより、管内CCTVカメラ画像、雨量、気象に関する防災情報を発信中。

**緊急情報の発信**

新着情報

リアルタイム情報

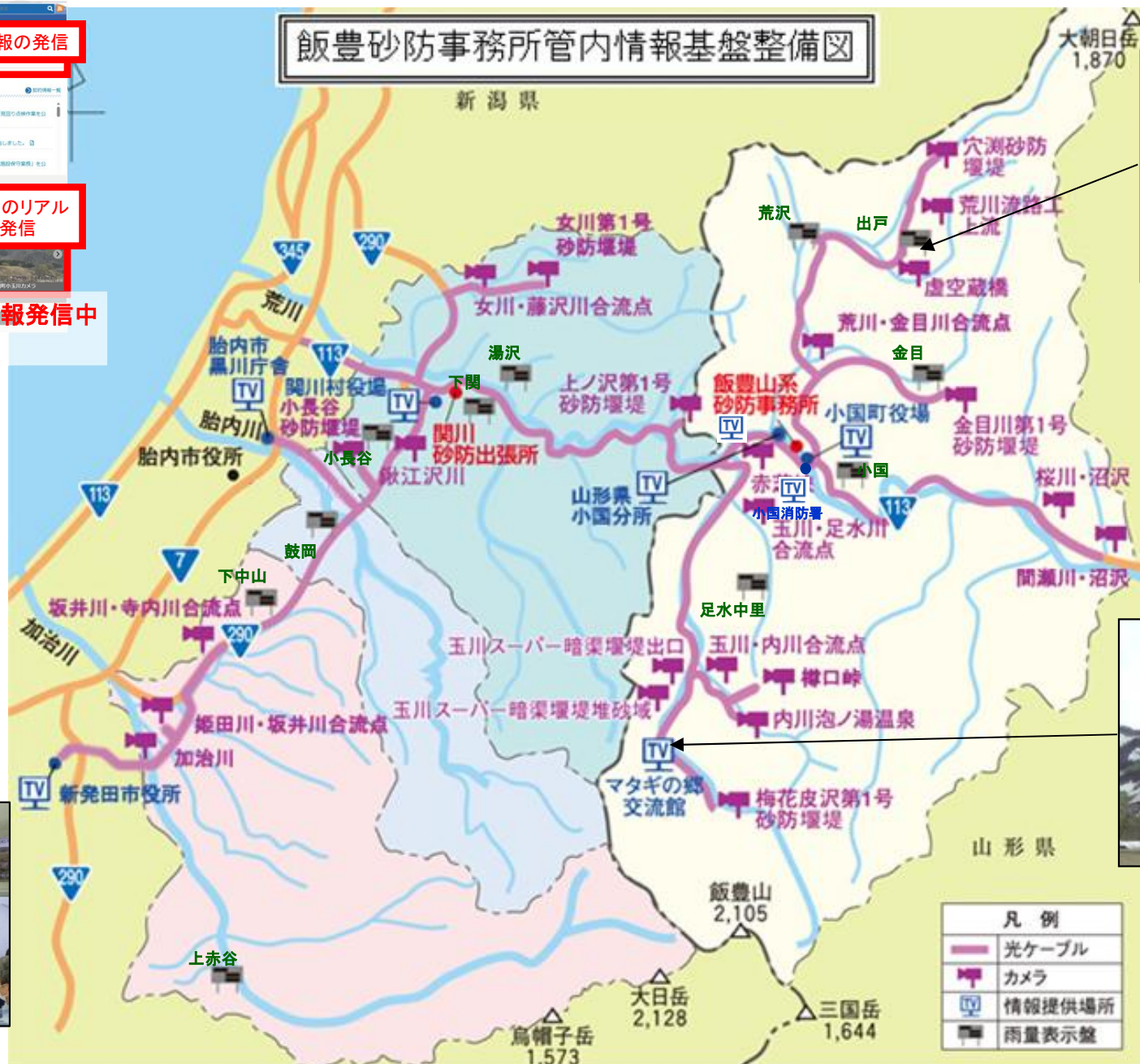
**映像、雨量等のリアルタイム情報の発信**

事務所ホームページにて防災情報発信中  
<https://www.hrr.mlit.go.jp/iide/>

**Xも随時更新中**  
 @mlit\_iidesabo

自治体とのWeb会議状況

災害時はWeb会議システムを用いて、関係自治体と情報共有を図ります。



荒川流路工に隣接して整備されているオートキャンプ場等の観光施設内に雨量情報表示盤を設置



地域住民、観光客等の交流施設(マタギの郷交流館)において、雨量・CCTV映像のリアルタイム情報を提供



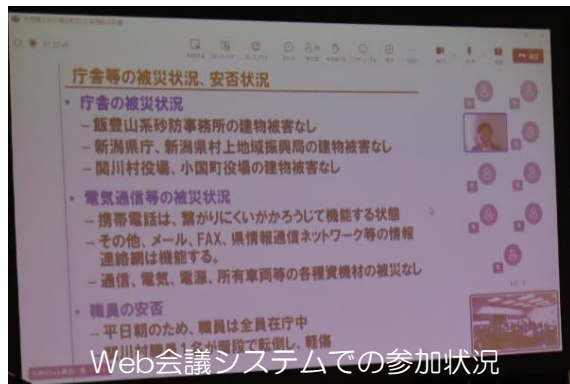
- 飯豊山系砂防事務所管内での大規模な土砂災害を想定し、管内関係機関と合同防災訓練を実施しました。
- 当日は、リモート形式も活用し、国・県・市町村の関係機関から約50人が参加しました。
- 大規模地震により被害を受けた地域に、後続して発生する豪雨に伴う被害が拡大する複合災害[地震×豪雨]を想定した訓練で、災害発生時の各機関の対応について確認し、情報共有や連携の確認を行いました。

日 時：令和7年6月24日（火） 13：30～16：30  
 会 場：関川村公民会館（新潟県岩船郡関川村）  
 ※一部の機関はリモートにて参加  
 参加機関：関川村、小国町、新潟県、山形県、新潟地方気象台、  
 防災エキスパート、北陸地方整備局（河川部）、  
 羽越河川国道事務所、飯豊山系砂防事務所

## 訓練中の様子



会場全体



Web会議システムでの参加状況



関川村



各機関からの発言



## 【講評（関川村長）】

地震後には国交省からの応援に加え、県職員、災害ボランティアなども派遣されることが想定される。そのような状況で豪雨となった場合、住民の警戒避難に加え、派遣されている方についてもどうするかも検討しなければならない。



加藤関川村長

## 【訓練総括】

危機管理対応では、災害の危険性をどのように住民等に伝えるかというリスクコミュニケーションが重要とも言われている。的確な情報を伝えて、住民等に「正しく恐れて」頂くために、どういう伝え方をするかについても、考えて頂きたい。



砂防フロンティア整備推進機構  
 亀江研究所長  
 （元国土交通省 砂防部長）

## ■令和8年度 合同防災訓練

日時 6月23日（火）午後

会場 村上市民ふれあいセンター（新潟県村上市）

# 地域の防災力を高める警戒避難体制の強化（土砂災害啓発活動）

関係自治体主催の防災訓練への参加、小学生や住民等を対象とした土砂災害に関する防災教育を行うなどの各種啓発活動を実施しています。また、職員の災害時での活動に備えた講習を実施しています。

## 令和8年度広報イベント実施・出展予定

予定日	イベント名	実施場所
通年	防災教育(出前講座)	各地
5月29日～ 6月26日	土砂災害防止月間パネル展	管内市町村(小国町,関川村, 胎内市,新発田市)内
9月26日	胎内市総合防災訓練	ふれすぽ胎内
9月30日	黒川地区・黒川小学校合同防災訓練	胎内市立黒川小学校
10月4日	新発田市総合防災訓練	新発田市内
10月18日	関川村総合防災訓練	せきかわふれあいドーム
10月18日	胎内市地震いっせい行動プラスワン訓練	胎内市内
10月23日	イオン新発田店 イザ活フェア	イオン新発田店
10～11月	あらかわ治水砂防巡り	管内
1月～2月	(仮称)山形県及び小国町冬期総合防災訓練	小国町内

## 令和7年度実績



地元小学生向けの出前講座 (R7.10.23)



過去の災害と防災対策を学ぶインフラツアー  
『あらかわ治水砂防巡り』(R6.11.3) ※R8は10～11月開催予定

動画ver.は  
こちらから



## UAVを活用した施設点検

・ニダイ林沢第1号砂防堰堤



撮影写真を拡大し  
縦打継目漏水を  
確認

条件がよければ、人力点検と比べても遜色  
ない変状確認が可能

【参考】  
人力点検に  
よる変状確認

令和2年度より、作業の安全確保、点検効率の向上を図るべく  
UAV点検を試行的に行い、従来の人力点検との比較検討を実施。

・穴淵砂防堰堤



人力点検では渡河不能のため撮影箇所へ  
到達できず、変状の確認が困難



UAV点検では、近接撮影により漏水を確認

## ICT技術の活用



3Dスキャナー  
による起工測量



測量・設計データを入力



オペレーターはタッチパネルを  
確認しながら操作を実施



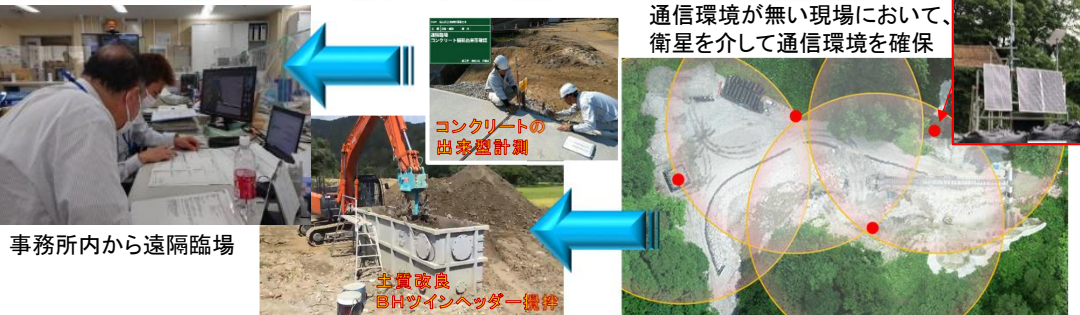
(NETIS) 杭ナビシヨベル



施工後のGNSSローバーによる高さ確認

ICT技術の活用にあたり、受注者向けの手引きを作成(次ページ)。  
手引きのデータを事務所ホームページに掲載している。

## 遠隔臨場対応(検査や立ち会い)の実施

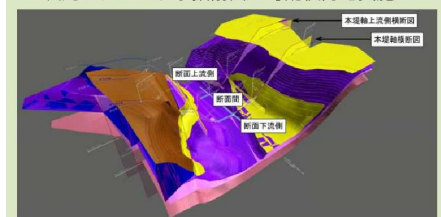


移動時間の削減、複数現場立ち会いにおける人手不足の解消、  
コストの削減、コロナ対策など多くのメリットが期待される。

## 3Dモデルの活用

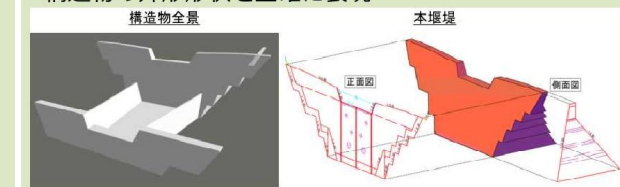
□ 地質モデル

3次元モデルにより掘削面の勾配検討を実施



□ 構造物モデル

構造物の外形形状を正確に表現

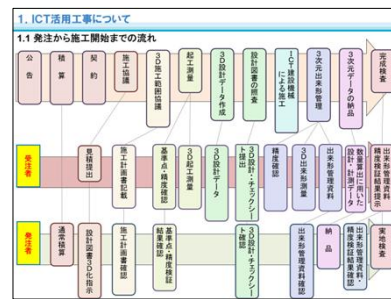


現地施工前に、建設予定の砂防堰堤の1回当たりのCo打設量や  
掘削後の地質断面等が容易に確認が可能となる。

- 飯豊山系砂防事務所管内では、ICT施工を経験した施工者が少なく、未経験の技術者が配置されることが多いこと、また、通信環境が良くないことから、円滑なICT施工の実施に課題
- 管内の砂防工事においてICT施工の試行支援を実施し、試行工事等の評価結果を踏まえ、『**砂防工事におけるICT技術を活用した工事の手引き（案）**』（以降、「**本資料**」）を作成し、施工業者へ取り組みの参考となるよう支援

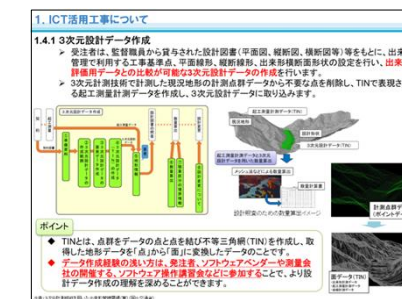
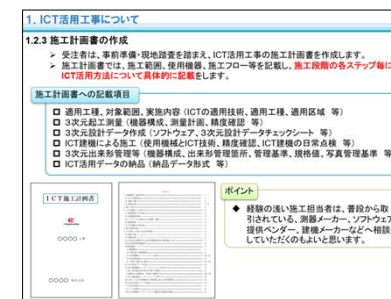
## ● 本資料の位置付け

- 本資料はICT活用工事に取り組むうえで、**受注者が確認、実施すべき作業の手順や内容について取りまとめたもの**
- 工事の段階ごとに実施内容を取りまとめているため、各段階ごとで留意すべき事項を確認することが可能
- 飯豊山系砂防事務所管内で実施した**ICT施工事例から活用時の効果と実際に起こった課題を整理**



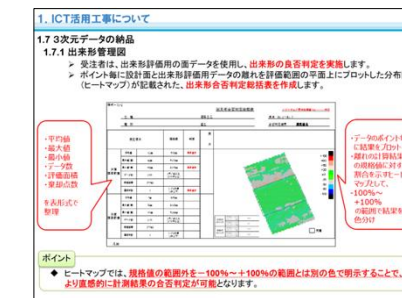
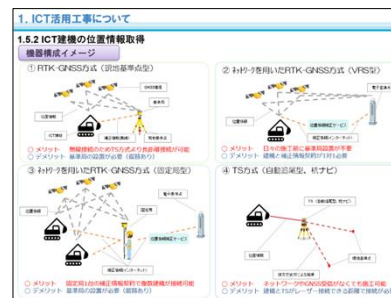
## ● 本資料はこんなときに活用いただけます

- **施工前に実施すべき作業や用意すべきデータがわからない...**
- ✓ 本資料では、ICT施工を実施するための**事前作業や現地での確認事項**を確認することができます。
- ✓ ICT活用工事における**施工計画書を作成する際の記載すべき項目**を記載しています。
- ✓ **3次元起工測量の実施手順、留意すべき事項や発注者への確認事項、提出が必要な資料等**を確認できます。



## ● 担当する現場に導入できるICT施工の施工方式がわからない...

- ✓ 工事現場の状況に応じて、導入可能なICT施工の活用方式を整理しています。本資料を確認することで、**担当する工事現場の状況に適したICT施工の活用方式を選定**することができます。
- ✓ ICT施工の活用方式について、仕組みの概要や導入するうえでの留意事項を確認できます。



## ● 3次元出来形管理ではどのようなことができるのかわからない...

- ✓ 本資料では、**3次元データを活用した出来形管理手法**について、留意事項や実施にあたってのポイントを確認することができます。
- ✓ 3次元データから作成可能な納品物や電子納品時に必要なデータについても確認することができます。

おおあさひだけ しいでさん だいにちだけ  
 当事務所管内は、大朝日岳(1,870m)から飯豊山(2,105m)、大日岳(2,128m)へと南北につらなる急峻な山塊に、幾筋もの清流を集めて、荒川、胎内川、加治川が豊かに流れ、日本海にそそいでいます。その源流部は磐梯朝日国立公園、胎内二王子県立自然公園に属するなど、「残された最後の原始的な自然」として、愛されている山々で形成されています。

山々に抱かれたこの地域には、「自然の宝庫」と呼ぶにふさわしい豊かな植生があり、沢山の生き物たちが生息しています。溪流沿いには、滝や釣り場、紅葉の美しい場所がたくさんあり、登山道を歩けば、豊かな生き物や緑と触れ合うことができます。

## 小国町

小国町観光協会HP



### ●飛泉寺のイチョウ



小国町の天然記念物となっているイチョウは、横川ダムの建設に伴い約100m離れた高台に移植され、今も地元のシンボルとして親しまれています。

### ●熊まつり



マタギ文化を継承している小玉川地区では、猟の収穫を山の神に感謝する「熊まつり」の儀式が受け継がれています。

### ●赤芝峡



荒川の景勝地であり、渓谷との調和が楽しめる紅葉の名所として知られています。

## 関川村

関川村自然環境管理公社HP



### ●大したもん蛇まつり【NIPPON防災資産 優良認定】



羽越水害(S42.8.28)の惨事を次代に引き継ぐため、大蛇の長さは82.8mとなり、ギネスブックにも認定されています。

### ●渡邊邸



母屋などは国の重要文化財に指定され、村上藩主の郡奉行、渡邊家の往時の暮らしぶりが忍ばれます。

### ●高瀬温泉の桜並木



村内には荒川に沿って5つの温泉地があり、高瀬温泉の春は桜に彩られます。

## 新発田市

新発田市観光協会HP



### ●新発田城



別名「あやめ城」とも呼ばれる平城で、春の桜、真冬の雪など、四季折々の風情をまとった姿が楽しめます。

### ●菅谷不動尊



創建は文治元年(1185)と言われ、本堂や山門などは新発田市指定文化財に指定されています。

### ●加治川治水公園



加治川からかつての加治川沿いまで、約2,000本の桜を見ることができ、満開の頃には、多くの人で賑わいます。

## 胎内市

胎内市観光協会HP



### ●樽ヶ橋



羽越水害時には破壊されましたが、現在は桜の名所となり、隣には樽ヶ橋遊園があります。

### ●越後胎内観音

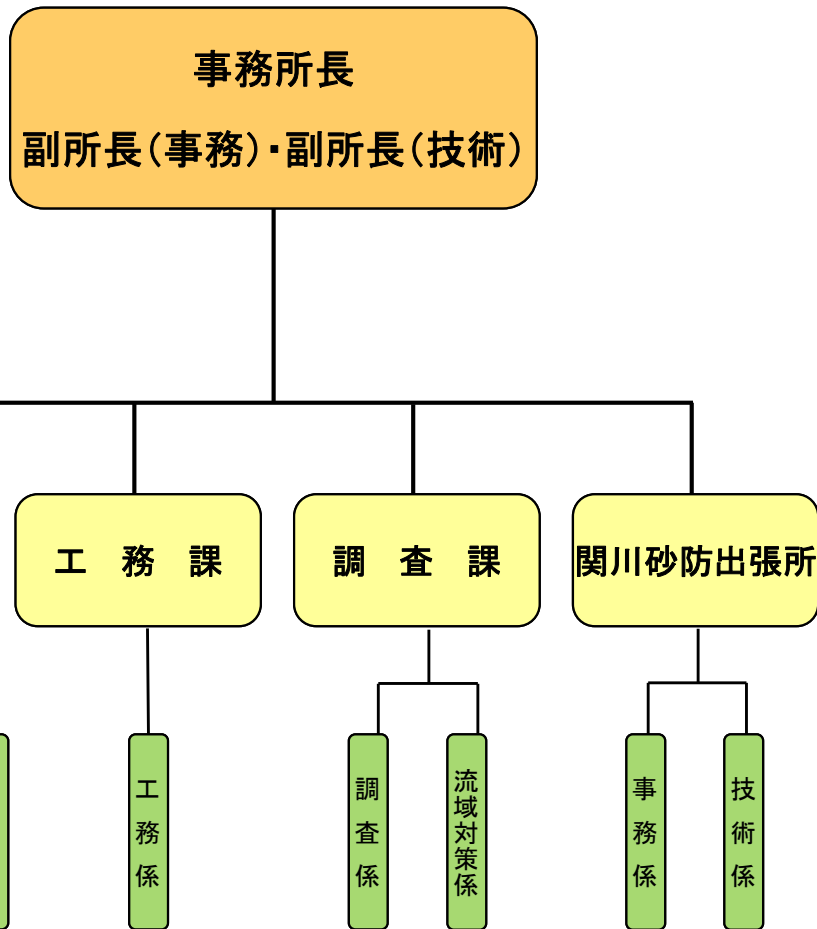


羽越水害殉難者の冥福と災害の復興、将来の平和繁栄等を祈念し、昭和45年8月に建立されました。

### ●胎内川と楡形山脈



楡形山脈は南北約14kmで、日本一小規模な山脈として知られ、尾根全体でハイキングコースが整備されています。



## 各種相談窓口

- 行政相談窓口 ————— 総務課
- 地域活性化・国際交流相談窓口 ——— 調査課
- 飯豊山系砂防広報窓口 ————— 調査課
- 総合学習相談窓口 ————— 調査課
- 請負業者等相談窓口 ————— 副所長

## 情報発信

### ●飯豊山系砂防事務所

HPアドレス

<https://www.hrr.mlit.go.jp/iide/>

公式X(旧Twitter)

@mlit\_iidesabo



### 事務所ロゴマークについて

ロゴマークは、飯豊山系の山々と高山植物のヒナウスユキソウ（雛薄雪草）をイメージデザインしたものです。ヒナウスユキソウは飯豊連峰や朝日連峰では、白い絨毯を敷きつめたような大群落を見ることができます。東北アルプスの名にふさわしい大自然の中で、自然と調和しながら砂防事業を進めていく私たちの思いをイメージしたものです。

## 事務所所在地

飯豊山系砂防事務所 〒999-1363 山形県西置賜郡小国町大字小国小坂町3-48  
TEL 0238-62-2566  
FAX 0238-62-2613

関川砂防出張所 〒959-3264 新潟県岩船郡関川村大字上関1303-2  
TEL 0254-64-1369  
FAX 0254-64-0025